

5 「丹波黒」を親に持つ枝豆用大豆新品種の育成

ねらいと成果

丹波黒枝豆は、独特の甘みと香りを持ち食感が良く需要が増加している。収穫期間は10月中旬から約2週間と短く販売期間に限られ、早い時期から丹波黒枝豆が食べたいという声や、収穫期間の拡大と労力分散を図りたいという生産者ニーズがある。

そこで、早生の黒枝豆と丹波黒枝豆の端境期に生産可能な品種の育成を目指した。その結果、「早生ダダチャ」と「丹波黒」との交配により、丹波黒枝豆より半月早く収穫できる「黒っこ姫（仮称）」と既存茶枝豆より1か月遅く収穫でき、茶枝豆特有の香りと食味を持つ「茶っこ姫（仮称）」を育成した。

内容

1994年に東北地方の茶枝豆用大豆である「早生ダダチャ」を母、「丹波黒」を父として交配し、選抜、固定化を進め、収量、品質、内容成分調査及び食味評価を経て、2005年に品種登録の出願を行った。

「黒っこ姫」の収穫期は、丹波黒枝豆より半月早い9月中下旬であり、夏大豆系の早生の黒枝豆と丹波黒枝豆との端境期に収穫でき、黒枝豆の連続出荷が可能となり栽培労力分散ができる。草姿は「丹波黒」と比べやや小さく、莢収量は10aあたり900kg程度である。3粒莢率は10%未満、2粒莢率は60%以上である（表1、2）。

表1 枝豆新品種及び交配親の生育特性(2000~2005年平均)

品種名	開花期 (月日)	枝豆収穫適期 (月日)	草丈 (cm)	株重 (g)	百粒重 (g)
黒っこ姫	8月4日	9月24日	94.8	1,039	49.4
茶っこ姫	8月7日	9月27日	98.7	1,100	36.9
早生ダダチャ(交配母)	7月19日	8月15日	66.1	337	30.1
丹波黒(交配父)	8月10日	10月15日	105.5	1,358	70.9

黒っこ姫、茶っこ姫、丹波黒の播種期は6月中旬、早生ダダチャは5月中旬
早生ダダチャは、畝巾60cm、株間20cm、一条植え栽植密度約8,000株/10a
その他は、畝巾120cm、株間40cm、一条植え栽植密度約2,000株/10a
枝豆収穫適期に調査、百粒重は乾燥子実の値

「黒っこ姫」は、丹波黒枝豆と比べ生莢の黄化程度はやや低く、ゆでると種皮が黒紫色になり、着色程度は同程度で、子実重量はやや小さい。ゆでた後の枝豆の全糖含量は、丹波黒枝豆や早生ダダチャ枝豆よりやや低い。

「茶っこ姫」の収穫期は、既存の茶枝豆より1か月遅い9月中下旬であり、収穫期間の大幅な延長ができる。草姿は「早生ダダチャ」と比べ大きく、莢収量は10aあたり1,000kg程度である。3粒莢率は2%未満、2粒莢率は60%以上である（表1、2）。

「茶っこ姫」は、早生ダダチャ枝豆と比べ生莢の黄化程度は同程度、ゆでると種皮が褐色になり、着色程度は同程度である。ゆでた後の枝豆の全糖含量は、早生ダダチャ枝豆よりやや高く、丹波黒枝豆と同程度である。

普及上の注意事項

「黒っこ姫」は、丹波黒枝豆と比べると粒がやや小さく、風味がうすく感じるので丹波黒枝豆とは区別して販売する必要がある。関西地方では茶枝豆を食する習慣が少ないが「茶っこ姫」は、茶枝豆独特の香りと味を活かした特色ある新規枝豆として期待できる。

両品種とも丹波黒枝豆と同様に、開花期から莢の充実・収穫期まで土壤水分の確保に努める。

福嶋 昭（北部農技・農業部）

（問い合わせ先 電話：079 - 674 - 1230）

表2 枝豆新品種及び交配親の枝豆特性

品種名	莢収量	2粒莢		3粒莢率	2粒莢率	1粒莢率	全糖含量
	(kg/10a)	長さ(cm)	重量(g)	(%)	(%)	(%)	(g*100gFW-1)
黒っこ姫	939	5.9	4.0	7.4	65.4	27.2	2.8
茶っこ姫	1,087	4.8	2.9	1.8	66.4	31.8	3.5
早生ダダチャ(交配母)	1,340	5.2	3.4	63.7	21.0	15.3	3.1
丹波黒(交配父)	1,105	6.2	5.2	1.4	58.3	40.3	3.4